

会社方針

「0」と「1」は、情報技術の基本要素であるビット (bit) を表しています。GLEAP では IT をもとに、革新的なアプローチやソリューションを提供し、社会的・経済的な問題に取り組んでいきます。

「魔法」という言葉は、驚きや未知の可能性を連想させる言葉です。GLEAP では、常にイノベーションを追求し、創造的な発想を重視しています。IT の力を最大限に生かすことで、新しいアイデアや製品を生み出し、社会的課題に対する新たな解決策を提供していきます。

「世界をひとつに」というフレーズは、地域や国境を超えた連帯や共感を示しています。GLEAP では、IT を活用して国際的なコミュニケーションや協力を促進し、人々の生活を向上させるためのソリューションを提供していきます。



0と1の魔法で世界をひとつに

Unite the world as ONE with the magic of zero and ONE.

GLEAP の5つの目標



- Global (グローバル)**
地域や国境を越えて、世界中の人々に役立つソリューションを提供する。
- Learning (学び)**
常に新しいことを学び、その知識を製品やサービスに反映させる。
- Education (教育)**
デジタル技術を利用して、質の高い教育機会を提供する。
- Advanced (先進的)**
最先端の技術や手法を取り入れ、業界のリーダーとしての地位を築く。
- Platform (プラットフォーム)**
さまざまなサービスやアプリケーションが統合されるユニークで包括的なプラットフォームを提供する。

GLEAP の歩み

2018

九州大学発のプログラミングサークル GLEAP を設立

プログラミングの学習を中心とした団体を九州大学内に設立。

WEB システム・アプリケーションの受託開発を開始。

プログラミングサークルの人員拡大と事業拡大

メンバーが 100 人を越える。世界に通用する IT 人材の育成を目指し、理論と実践の場として活動を進める。

人物検知や物体検知など AI アプリケーションの受託開発を開始。

2019

中高生を対象とした IT 人材の育成事業の開始

Advantech 株式会社の協力のもと、直方市で年 2 回 IT 人材の育成を目的としたプログラミング教室を開催。毎年約 30 名の中高生に対して、指導を行う。

2020

大阪万博に向けた AI アプリケーション開発事業の開始

2025年大阪万博に向けて、スマートポールに内蔵される顔認識・特徴認識システムを他社と共同で開発を始める。同年現地で実証実験を行う。

2021

AI 事業領域の拡大と特許取得

人物、物体検知・認識以外に文字認識や大規模データを活用したデータ予測、異常検知などの業務に取り組む。

画像処理と AI を活用した積層信号灯センシングシステムにおいて特許を取得。

2022

GLEAP 株式会社の設立

事業拡大に伴い、AI・WEB アプリケーション開発、育成・教育事業を行う GLEAP 株式会社を設立。



2023

新規事業の開拓と研究開発

最先端の技術や手法を取り入れるべく、社内で論文をもとにした AI に関する調査を開始。また、AI 開発の実績と人材育成の経験をもとに企業研修プログラムの業務を開始。

今後はこれらの内容を集約した教育プラットフォームを開発していく。

2024

GLEAP 株式会社 総務 : 山内 優太郎
Email : yutaro.yamauchi@gleap.tech
気になる点がございましたら、お気軽にご連絡ください。



会社概要

- 会社名 : GLEAP 株式会社
- 設立 : 2023 年 4 月
- 資本金 : 200 万円
- 所在地 : 福岡県福岡市
- 代表取締役社長 : 比嘉 恵一朗
- 従業員数 : 3 名 ※ 2024 年 3 月現在

事業領域

最先端の AI 技術を活用したソフトウェア開発とシステムインテグレーション (SI) サービスを提供する IT 企業です。少数精鋭のチームによるアジャイル開発で、顧客の細かな要望にも迅速かつ柔軟に対応し、最適なソリューションをご提供します。

提供製品・サービス

- AI を活用した画像・動画分析ソリューション
画像認識による製品検査・動画解析による顧客行動分析・交通状況分析や人流監視など
- AI を活用した文字認識ソリューション
パッケージなどの文字認識・解析
- システムインテグレーション (SI) サービス
システム構築・運用保守・コンサルティング

メンバー

代表取締役社長 : 比嘉 恵一朗

【経歴】
九州大学大学院 数理学府 数理学専攻卒 (修士)
九州大学 学生表彰受賞 (2020 年度)
次世代研究者挑戦的研究プログラム (JST) 採択
GLEAP 株式会社代表
DEVEL 株式会社代表

【専門】
量子アルゴリズム・最適化アルゴリズム

【著書】
IBMQ で学ぶ量子コンピュータ



代表取締役 : 比嘉恵一朗



取締役・技術責任者 : 西村 拓

【経歴】
九州大学大学院 理学府 化学専攻卒 (修士)

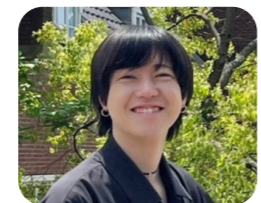
【主な開発言語】
Python・TypeScript・Dart・C++・Fortran

【開発実績】
人流監視アプリケーション・骨格検知アプリケーション
特徴点認識による人物認識システム
AWS を用いた実務開発経験 5 年

総務・経理 : 山内 優太郎

【経歴】
早稲田大学 社会科学部 社会科学科卒

【保有資格】
基本情報技術者試験
簿記 2 級

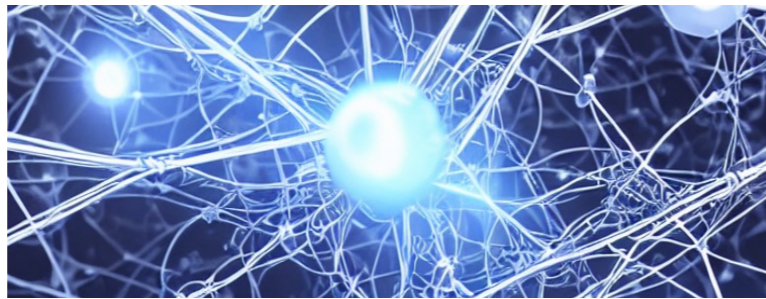


最先端の技術と培ってきたノウハウで、お客様の課題に寄り添った解決策をご提案します。

AI・機械学習領域

**Keep for Developing,
Keep for Advancing.**

革新的な技術とこれまでの経験から得られた知識を結集し、AIと共生する未来の形成に挑戦し続けます。AIテクノロジーによってもたらされる持続可能な未来を創造する使命に日夜情熱を注いでいます。



物体検知

汎用的な人物検知をはじめ、オリジナルの検知モデルの作成も得意としています。



文字認識

これまでの知見を基にした画像処理技術により、環境耐性の高い識字率を獲得しています。



生成AI

大規模言語モデルや画像生成など、最先端のAI技術を用いて業務量削減のお手伝いをします。



人流監視システム

通路や通用口に置かれたカメラ映像をもとに、人物検知を行い、通過した人数を計測し、エリア内の滞在人数を時系列的に分析します。

現在の建物内の人数や、エリア内の混雑度を可視化することで、

- ✓ イベント等における混雑の緩和
- ✓ 顧客の動線や滞在時間の分析からプロモーションの向上
- ✓ 最適な人員配置の提案

などを可能にします。

積層信号灯センシングシステム

工場内に置かれた監視カメラ等の映像から、各機器に設置された積層信号灯の発光状況を監視し、遠隔からのステータスチェックや履歴の確認を可能にします。

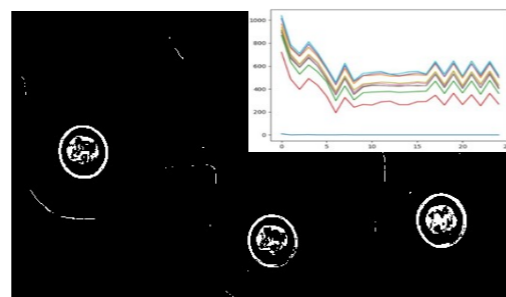
さらに、時間帯に応じた人物検知機能やエリア侵入検知機能などをプラグインとして提供しており、円滑な工場ラインの経営や安全管理を支援します。

特許第 7182738 号 認証・取得

工場生産ライン支援システム

適切な画像処理とオリジナルの機械学習アルゴリズムを用いて、各部品の異常や組み付け異常を検出・報告します。

さらに、文字認識技術（OCR）と組み合わせることで、製品ラベルの識字や製品ロットの確認も同時に処理可能です。



Web アプリケーション領域

**Best of Useful,
Best of Efficiency.**

ウェブの可能性を最大限に引き出し、シンプルな操作性と使いやすいデザインを目指すことで魅力的なユーザーエクスペリエンスを実現します。革新的なテクノロジーと洗練されたデザインが、あなたのビジネスを強化します。

学習塾における管理システム

以前まで、紙や Excel で管理していた学習塾の業務内容をすべて Web 上で管理できるようなシステムを開発しました。

このシステムでは、学習塾における授業の時間割を管理したり、生徒の出席や成績など塾に関するあらゆるものを管理します。

また、同時に社員やアルバイトの勤務管理や給与管理と連携しており、事業管理と会計を一つのシステムで可能にしました。

介護施設の統合管理システム

介護業界では利用者の状況を管理するために各部屋にセンサーやカメラが設置されています。これらの機器は基本的に市販の安いものを用いているため、管理するためにはそれぞれ各社のアプリケーションをインストールする必要があります。GLEAP ではこれらのセンサーやカメラを統合して管理できるシステムを開発しました。このシステムではセンサーやカメラの管理以外にも利用者や職員も管理することができるので、介護の業務をこれ一つのシステムで行うことを可能にしました。

育成・教育領域

**Developing world-class
IT Professionals.**

GLEAP で培ってきた技術やノウハウを、次世代に伝え、未来を牽引する IT 人材の育成にも力を入れています。大学生だけではなく、高校生や中学生など幅広い年齢層に向けて発信しています。

直方市プログラミング教室事業

直方市、アドバンテック株式会社と共同で、直方地区を中心として中高生向けプログラミング教室を年2回開催しています。

プログラミング言語「Python」を用いて、基本文法からアルゴリズムの構築、さらには画像認識機械学習モデルの開発まで、初心者から上級者まで楽しめるカリキュラムを構成しています。

九州大学プログラミングサークルとの連携

九州大学内の公認サークルとして同名のサークル「GLEAP」を設立し、将来エンジニアを目指す・ITに興味ある大学生を、初心者から上級者まで育成する目的で活動を行っています。

不定期で自社社員による講習会を開催したり、案件等の業務委託、運営にかかわる費用の補助など、サークル活動を包含的にサポートしています。

